

A Letter from the Career

Guidance Office No16 May21

今日のテーマは倍率です。私立大学の入試では 20 倍、30 倍という倍率が発表されることがあります。しかし、実際には一般入試で募集人員の 3~5 倍、センター試験（共通テスト）利用入試では 10 倍程度の合格者が出されることが一般的です。倍率に惑わされないように。

【関西学院大学理工学部一般入試】

志願倍率 12.4 倍（募集 133 人/志願者 1644 人）

実質倍率 3.1 倍（合格 523 人/受験者 1596 人）

【関西学院大学理工学部センター利用入試】

志願倍率 33.2 倍（募集 58 人/志願者 1928 人）

実質倍率 3.6 倍（合格 530 人/受験者 1928 人）

ただ実質倍率でも、非常に高倍率の大学・学部もあります。以下はその例です。

実質倍率の高い大学・学部

関西大	社会安全	個別	12.1 倍	関西大	商学センター利用	22.2 倍
近畿大	総合社会	前期 A	14.8 倍	近畿大	法学 前期 B	14.4 倍
近畿大	経済	前期 B	12.9 倍	近畿大	経営 前期 B	13.1 倍
近畿大	総合社会	前期 B	25.7 倍	関西学院大	神学 個別	13.8 倍
神戸学院大	現代社会	センター利用	14.1 倍			

近畿大学の一般入試では、1 月下旬の A 日程と 2 月中旬の B 日程があります。今回は併願校の関係で B 日程に人気が集まったようです。

関西学院大学 時計台

